

News Release

2022年10月吉日
ヘッドスプリング株式会社
代表取締役社長 星野 脩

住宅用蓄電システム「mapple GX battery」の提供開始 ～脱炭素 & 持続可能な社会実現のための新ブランド「mapple GX」～

ヘッドスプリング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：星野脩、以下ヘッドスプリング）と株式会社昭文社ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：黒田茂夫、東証コード：9475、以下昭文社ホールディングス）および、その子会社である株式会社マップル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大日方祐樹、以下マップル）は2022年10月31日より住宅用蓄電システム「mapple GX battery」の提供を開始します。

※ ヘッドスプリングと昭文社ホールディングスは、2021年6月に資本業務提携契約を締結しております。

取り組みの概要

かねてより、ヘッドスプリングは汎用かつ高性能な電力変換モジュール (biBLOCK) により、蓄電池向けの電力変換器、EV 充電器の価格を大幅に削減して、IoT 技術 (biPYXIS) と組み合わせた電力融通システムの開発に取り組んで参りました。



また、ヘッドスプリングとマップルは、EV 充電器の提供・EV 充電ステーションマップの構築など「2050年カーボンニュートラル」を見据えたエネルギーソリューションに共同で取り組んでまいりました。

このたび両社は、昭文社グループによりカーボンニュートラル関連事業全般に向けて立ち上げた新ブランド「mapple GX」の新製品として、2022年10月31日より住宅用蓄電システム「mapple GX battery」の販売を開始します。また、「mapple GX battery」を複数台組み合わせて仮想的な単相大容量蓄電システムとして活用する集合住宅向けソリューションの提供も同時に開始します。

mapple GX battery の特徴

蓄電池本体は、熱に強いリン酸鉄リチウムイオン電池を採用し、IP65※レベルの防塵防水仕様を施しています。また 10 年間のメーカー保証が付いており（15 年間への延長も可能）、万が一の際にも安心のサポートをご提供します。停電時の備えとしてだけでなく、平常時に経済優先の自動運転モードによる省エネ効果・電気代削減効果も見込めます。

また、「mapple GX battery」はハイブリッド型パワーコンディショナーを搭載しており、太陽光パネルを接続・制御することができます。そのため太陽光発電用のパワーコンディショナーを別途購入する必要がありません。

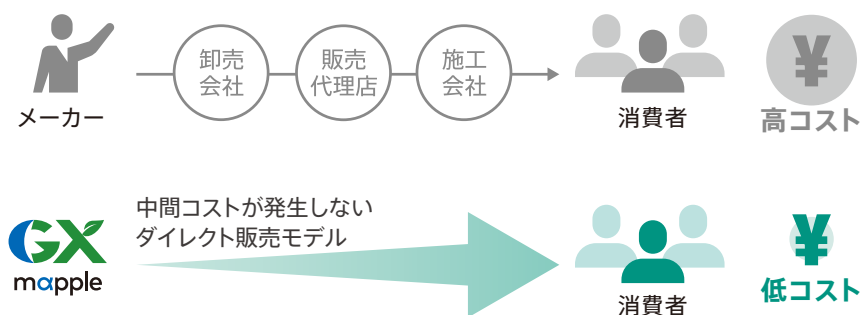


※ IP65 とは電子機器などの防水や防塵に関する程度を示す等級文字です。この場合防塵性能は最高段階の 6、防水性能は 8 段階のうちの 5 となります。

mapple GX battery は導入しやすい適正価格で卒FIT を支援します

国内の住宅用蓄電池市場は、<卒 FIT>と言われる電力の固定価格買取契約が終了した消費者を中心に導入が進んでおりますが、蓄電池価格が高額なため導入に踏み切れない消費者も多いのが実情です。

また複数の中間業者が介在する場合も多く、これも適正価格から乖離した価格設定の一因となっているものと考えております。今回、提供を開始する「mapple GX battery」は、消費者に直接販売するダイレクト販売モデルを取ることで大幅にコストを下げ、お求めやすい価格で提供いたします。



集合住宅向け電力融通システムの提供

国内における再生可能エネルギーの活用拡大に向けては、集合住宅への太陽光発電と蓄電池の普及が必要不可欠です。また地震や水害が多発する中で、集合住宅においても災害・停電対策が求められており、ここでも蓄電池の普及が求められています。一方、集合住宅への蓄電池の設置にはまだまだ課題が多いのが実情です。特に小規模集合住宅の場合、従来の大容量蓄電システムは三相電源仕様であるため単相受電の住宅には適さないこと、一体型でサイズが大きいため設置場所

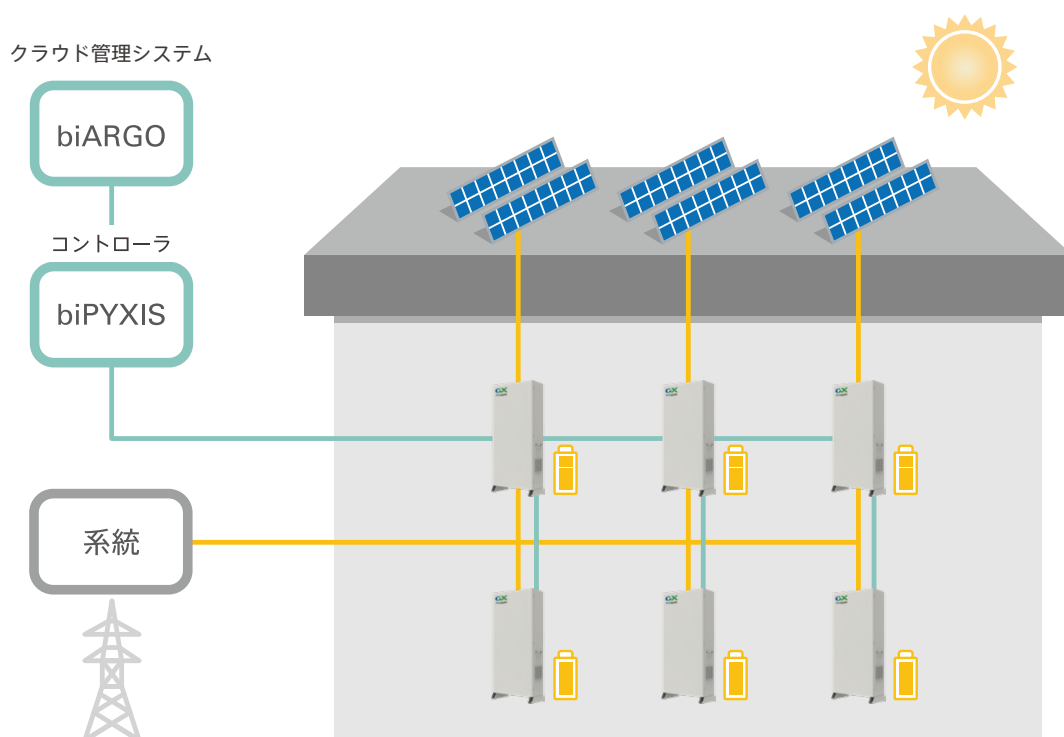
の確保が困難かつ搬送費が高額になること、蓄電容量が過剰でコスト面でのメリットが出せないことなどが普及を阻害する課題として挙げられます。

ヘッドスプリングではこれらの課題を解決するために、複数の「mapple GX battery」を統合制御することで「仮想的な単相大容量蓄電システム」を構築する新技術を開発しました。本システムには、ヘッドスプリングがパワーエレ機器分野で培ってきた高速・リアルタイム制御技術をベースに新規開発した高速電力制御コントローラ「biPYXIS」が用いられています。個々の「mapple GX battery」には太陽電池パネルが接続され、発電電力が余剰な場合には蓄電池に充電されます。単に「mapple GX battery」を分散配置した場合には余剰な発電があった場合でも内蔵蓄電池が満充電の場合には有効活用することができませんが、本システムでは「biPYXIS」により複数の「mapple GX battery」の間で電力を融通することでより有効に発電電力を活用し、電力系統からの受電量の最小化を実現します。

また、本システムは負荷急変などにより電力バランスが崩れた場合でも、「biPYXIS」の高速・リアルタイム制御により最適状態に高速復帰（逆潮流を防止）することが可能です。

さらに、クラウド管理システム「biARGO」と接続することで、過去の電力消費実績や天気予報などから AI が算出した電力需要予測に基づいて蓄電池を最適運用して、太陽光発電のエネルギーを最大限に活用することが可能となります。

本システムは蓄電池の分散配置が可能なため、広い設置スペースが確保できない場合においても、蓄電池容量や配置レイアウトをフレキシブルに調整することができます。



太陽光発電と本ソリューションを組み合わせることで、効率的な再生エネルギーの活用が得られるだけでなく、突然の災害による停電の時にでも電気が使えるので、居住者様に安心・安全を感じて頂けます。

会社概要

| | |
|-------|--|
| 名 称 | ヘッドスプリング株式会社 |
| 所 在 地 | 東京都品川区東品川 2 丁目 5 番 5 号ハーバーワンビル 3F |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 星野 脩 |
| 事業内容 | パワーエレクトロニクス製品の開発・製造・販売事業 新興国向けコンサルティング・新エネルギー事業 |
| 資 本 金 | 1 億円 |
| 設 立 | 2014 年 7 月 |

本リリースに関するお問い合わせ先

ヘッドスプリング株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2 丁目5 番5 号 ハーバーワンビル3F

URL <https://headspring.co.jp/>

TEL 03-5495-7957

Mail hs-pr@headspring.co.jp